

No.

マレーシア東方政策 評価予備調査団報告書

昭和62年5月

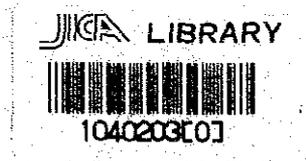
国際協力事業団
研修事業部

113
36
TAT
BRARY

研 三
J R
87 - 1

マレーシア東方政策
評価予備調査団報告書

昭和62年5月



国際協力事業団
研修事業部

国際協力事業団		
受入 月日	'87.10.03	113
登録 No.	16821	36
		TAT

序

論

この報告書は、マレーシア国の要請により昭和57年度から受入れが実施されている東方政策研修員受入の中間評価調査を日・マ合同にて実施するに当たり、その評価の手法；日・マの責任範囲；実施時期等を事前にマレーシア側と協議するため、昭和62年3月2日から昭和62年3月7日までマレーシアに派遣された予備調査団の報告を取りまとめたものである。

調査団はマレーシア側の東方政策実施機関である人事院を訪問し協議するとともに帰国研修員の所属先をも訪問し帰国研修員と懇談する機会も得た。本報告書が昭和62年度以降実施される評価調査実施のよりよい指針となれば幸いである。

尚、本件の実施のためにご協力を賜った外務省、通産省をはじめとする東方政策受入協議会の各機関の方々、及び現地において数々のご指導とご協力を賜った在マ日本大使館並びに関係機関に深甚の謝意を表したい。

昭和62年 5 月

研修事業部

部長 岡 部 和 夫

54-113

目 次

1. 調査の背景	1
2. 調査団の派遣目的	3
3. 調査日程	5
4. 調査団の構成	7
5. 調査結果	9
6. 結 論	13
7. 付属関係資料	15
ミ ニ ッ ツ	17
人事院組織図	36

1. 調査の背景

マハティール首相が提唱した「東方政策」に応じ、我が国は産業技術研修員、経営実務幹部研修員の受入れを昭和57年度から行なっているが、昭和61年度までの累積実績が各々、1,266名、63名という多数に及ぶに至り、本件に係る評価調査の必要性が双方政府間で認識され始め、昭和61年12月に行なわれた日・「マ」年次協議の席にて、合同評価調査を行なう事が合意された。この合意に基づき、我が方はJICAベースでの予備調査団を派遣する事を決定、昭和62年度に実施される合同評価における調査票の内容、対象の範囲、調査方法、スケジュール、業務分担等に係る協議を行なう事とした。

2. 調査団の派遣目的

本年の5月以降に実施予定の本調査の予備的調査が主たる目的であり、その内容は以下の通りである。

- (1) マレーシア側の調査実施主体である総理府所属のP.S.D. (Public Services Department) と、調査票の内容、調査の方法、調査対象数の決定、調査実施の両国の責任、調査実施日程等を検討して、両国間の合意を得ること。
- (2) 研修員を派遣した代表的機関を訪問して、派遣側の評価、および元研修員の日本における研修に対する意見を聴取して、本調査の実施方法に対する示唆を得ること。
- (3) マレーシアに駐在している日本国企業等の代表に会い、東方政策に基づく研修員受け入れについての日本側企業の受け入れ条件の改善等の意見の聴取をして、今後の東方政策研修員の受け入れ推進策に対する示唆を得ること等。

3. 調査日程

日順	月 日	曜日時間	行 動 内 容
1	3月2日	月 午前 午後	成田発(9:45)クアラルンプール着(16:00) ○ホテルにて調査団内打合せ
2	3日	火 午前 午後	○日本大使館表敬, 調査スケジュール・内容打合せ ○プロトン社訪問, 東方政策帰国研修員と懇談 ○SIRIM(Standards & Industrial Research Institute of Malaysia)訪問, 東方政策帰国研修員と懇談
3	4日	水 午前 午後	○PSD(Public Services Department)と評価調査の内容につき打合せ・意見交換 ○NEB, ILSAS(National Electricity Board, Sultan Ahmad Shah Training Institute)訪問, 東方政策帰国研修員と懇談
4	5日	木 午前 午後	○MIT(Mara Institute of Technology-Japanese Language Class)訪問, 日本語教師と意見交換 ○INTAN(National Institute of Public Administration)訪問, 東方政策研修員と意見交換 ○日本人商工会議所訪問
5	6日	金 午前 午後	○日本大使館へ調査結果報告 ○調査資料整理 クアラルンプール発(22:55) JL722
6	7日	土	成田着(6:05)

4. 調査団の構成

団 長 (総括)

齊 木 昭 隆 外務省アジア局南東アジア第二課首席事務官

団 員 (分析手法・調査)

相 沢 幸 一 通商産業省通商政策局経済協力部技術協力課海外投資調査
係長

(企画協力)

小 西 淳 文 外務省経済協力局技術協力課外務事務官

(分析手法・調査)

代 田 泰 彦 財団法人海外技術者研修協会国内業務課長

(業務調整)

谷 田 和 之 国際協力事業団研修事業部研修第三課課長代理

5. 調査結果

(1) ミニッツ等の協議

P.S.D.と協議の上、合意に達したミニッツ、研修員に対する調査票及び研修員所属機関に対する調査票については付属関係資料のとおり。

(2) 協議内容

イ) ミニッツ

① 5. PRESENTATION OF THE SURVEY REPORTの項目に「報告書は両国政府が合意するまでは「秘」扱いとする」の文言が挿入された。

② SCHEDULE OF WORKのうち、マレーシア側による調査票配付が「May」から「June」に変更された。

ロ) 研修員調査票

① 帰国研修員の中には英語を理解しない者もあり、回収率を上げるためにマレー語も併記することとなった。

② 研修員から率直な意見が出やすくするため研修員の名前を記入させることはやめ、PSDが配付時にナンバーを付し、台帳を作成し回収の管理にあたる。

ハ) 所属先調査票

基本的変更はなし。

(3) 関係機関の訪問

イ) プロトン(Penusahaan Otomobil Nasional Sdn Bhd.)

① 日時：昭和62年3月3日 10時半

② 企業側代表者

MR. ADZMI ABDUL WAHAD. (General Manager)

MR. OTHMAN B. ISMAIL (Deputy Manager, Employee relations and Training, General Affairs Dept.)

③ 企業側の評価の概要

日本に派遣した研修員は353名(内、LEP研修員138名)であるが、これは全従業員1,250名の4分の1にあたる。現在、Proton-SAGAを市場に提供出来るのは、日本に派遣した研修員の活躍に負う所が大であり、日本における技術研修の成果に、大いに満足している。

1987年度は、提携先の三菱自動車側の事情で研修員派遣はないが、今後、米国市場

への進出等が実現すれば、生産台数の増加、生産ラインの調整等に並行して、金型技術の開発が必要になるので、このような分野の研修員派遣を考えたい。

④ 元研修員代表の意見（各作業分野からの代表10名）

- ・日本における研修は、大旨、効果的であった。
- ・自動車工場で働いた経験がなしで日本に行ったので、言われる通りに研修した。今から考えると、期間が短い分野もある。
- ・实际的に自動車の生産がはじまり、経験を重ねて、はじめて、日本で研修が応用出来るし、日本で学びたいことも多い。再研修を希望する。
- ・日本では自動化されている部分があり、そこで研修したが、マレーシアでは手動であり、日本で学んだことが直接活用出来ぬ分野もある。

ロ) SIRIM (Standards & Industrial Research Institute of Malaysia)

① 日時：昭和62年3月3日 14時半

② 機関側代表者

MR. ABDUL HALIM. SHAH (Director of Administration)

MR. JAMALDDIN BIN HASHIM (Head of Training & Career Development Unit)

③ 派遣側の評価

77人を派遣しており、研修成果を高く評価しており、今後も派遣したい。今迄は、金属加工等の基本的な技術習得が多かったが、今後は、研究開発部門、研究所での実験技術等の研修を希望する。

④ 元研修員の代表の意見（10名）

- ・日本における技術研修は、大変有益であった。
- ・生活上の世話も良くしてくれた。
- ・日本人は英語が上手でないので、日本語の習得が大切である。
- ・研修時の資料は日本語のものが多かったが、英語のものがあれば良かった。
- ・公害防止技術については、今後活用出来るだろう。

ハ) National Electricity Board

① 日時：昭和62年3月4日 14時半

② 派遣側代表

MR. TUAN HAJI ZAGHLOL (Director of ILSAS) 他3名

③ 派遣側の評価

現在までに35名派遣しており、各研修員とも成果をあげて帰国しており、ILSASのインストラクターとして活躍している。

④ 元研修員の代表の評価（17名出席）

- ・第2陣で派遣されたが、研修シラバスと専門技術との間が、かけ離れていたが、調整がうまくいかなかった。
- ・指導員が英語を使う場合が多かったが、日本語を使ってほしかった。
- ・日本の労働者と一緒に働きたかったが、理論的な側面が強調され、現場に入れなかった。
- ・研修のなかで、企業秘密にふれる場合があった。

ニ) マラ工科大学日本語クラス

① 日 時：昭和62年3月5日 9時

② 面談者：MR. RAZAK 他10名の日本語講師

③ 主たる意見

- ・6カ月という長期間日本語を習っても、教室の外で全然使わないので、なかなか定着しない。
- ・1クラスの生徒数が25名と多いので、口頭練習の回数や、各人の個性に合わせた指導がむずかしいので、教師数を増やせないか。
- ・マレーシアでの研修期間を短縮して、日本での語学研修が出来ないか。例えば、マレーシアで2カ月、日本で1カ月。
- ・日本の研修時に英語を使わずに、日本語だけで研修するよう指導してほしい。帰国した同僚から、日本語の必要性に対する疑問が出ると、生徒の学習意欲が減退する。

ホ) マレーシア公務員研修所 (National Institute of Public Administration)

① 日 時：昭和62年3月5日 11時

② 機関側代表者

DR. MAZLAN BIN AHMAD (Director of N.I.P.A.)

(JICA高級研修員として昭和61年10月5日から10月16日まで滞在。)

③ 派遣側の評価

公務員研修所からは経営幹部研修員として日本に派遣しており、研修期間は短いですが、研修の成果については高く評価している。マハティール政権の主要政策のひとつでもあり、今後も日本の協力をお願いすることになる。

④ 元研修員の意見（5名）

- ・研修は非常に有意義であり満足できるものであった。現在でも当時の講師の人達と文通している。
- ・日本に滞在した時期はとても寒く、できれば温かい時期に受入れて欲しかった。
- ・資料が日本語のものが多く、もう少し英語のものを入手したかった。

- ・できればもう一度日本で研修を受けたい。
- ・文化の違いもあり、日本の方式を100%取入れることは困難である。
- ・最初の年であったので受入先もどう取扱ってよいのかわからなかった様である。

へ) 日本人商工会議所

① 日 時：昭和62年3月5日 15時

② 面談者：日本商工会議所駐在員，進出企業代表等

③ 主たる意見

- ・マレーシアは確かに「東方政策」を掲げてはいるが、欧米に拮抗の人数が毎年研修に派遣されており、しかも彼等は東方政策研修員よりもハイクラスであるため、東方政策を過大評価するのは如何。
- ・プロトン社からは東方政策及び企業ベースを含め全社員の4人に1人が日本で研修を受けているが、中間管理職が日本であまり研修を受けておらず、下の者が研修を受けているケースがかなりあり両者の間にギャップが見うけられる。
- ・このところ研修員受入先からよく「受入疲れ」の声がささやかれており、このままでは先細りの危惧がある。
- ・日本国内向けのPRが不足しているのではないか。

6. 結 論

今回の調査は実質3日間という短期間ではあったが、先方PSDを始め関係機関の究めて協力的な対応振りもあり、当初の予定以上の成果を上げる事ができたと言えよう。中でもPSDは本件調査団のほぼ全日程をアレンジするという好意的な対応を示したのみならず、担当官が調査団訪問先(マレーシア側関係機関)に全て同行するというように、先方の本件評価調査にかける期待の大きさをうかがい見ることができた。

評価調査に関する調査票、日-マ双方の業務分担等に係るミニッツ案の協議については、我が方提示案を尊重する形で協議が進められ、若干の言い回しの変更等を除けば、概ね原案どおりで合意する事ができた。なお、先方からの申し出により、調査結果は双方の合意がない限り、対外秘扱いとする事としたので付言しておく。

帰国研修員との懇談では、言葉の問題、希望研修内容とシラバス及び実際の研修内容との相違等が問題点として指摘されたが、全員研修成果を認めており、日本の文化・習性にも理解を示す他再研修を望む研修員も多く、本件協力が技術協力のみならず、文化交流にも大きく役立っていることが、容易に見てとれた。又、帰国研修員所属機関責任者はいずれも帰国研修員の習得技術を高く評価しており、他の多くのメンバーを、本件協力スキームの下に、日本に派遣したいという意向を示していた。

本件協力に関する詳細な調査結果は調査票回収後の集計・分析により明らかにされようが、今回の予備調査の段階でも、同結果が究めて望ましいものとなる事が予想され、89年まで継続される本件協力の評価のみならず、それ以降の協力の指針を検討するのに良い材料ともなり得るであろうと思われる。

7. 付属関係資料

討議議事録 17

人事院組織図 36

MINUTES OF DISCUSSIONS ON THE EVALUATION SURVEY
OF THE INDUSTRIAL AND TECHNICAL TRAINING/EXECUTIVE
DEVELOPMENT PROGRAMME IN JAPAN UNDER THE LOOK EAST
POLICY OF MALAYSIA

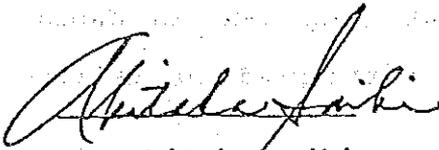
The Japanese Consultation Team (hereinafter referred to as the Team) organized by Japan International Cooperation Agency (JICA) and headed by Mr. Akitaka Saiki, Deputy Director of the Second Southeast Asia Division, Asian Affairs Bureau, Ministry of Foreign Affairs, visited Malaysia from 2nd March, to 6th March, 1987, with the purpose of having discussions concerning the survey of evaluation on the Industrial and Technical Training/Executive Development Programme in Japan under the Look East Policy (hereinafter referred to as the survey).

During its stay in Malaysia, the Team had a discussion with the Malaysian officials headed by Mr. Azizan Ayob, Deputy Director, Training and Career Development Division, Public Services Department, Malaysia with respect to the framework of the survey.

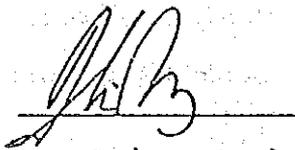
The list of names of both delegations is as in Appendix I.

As a result of the discussion, the Team and the Malaysian side have made the framework of the implementation plan of the survey as mentioned in the document attached hereto.

Kuala Lumpur, March 5, 1987.



Mr. Akitaka Saiki
Head of Japanese
Consultation Team.



Mr. Azizan Ayob
Deputy Director
Training and Career Div.
Public Services Department
Malaysia.

ATTACHED DOCUMENT

1. PURPOSE

The purpose of the survey is to evaluate the effectiveness of the Industrial and Technical Training/Executive Development Programme in Japan under the Look East Policy with a view to further contribute to the improvement of the training programme in the future.

2. SURVEY METHOD

1) (Questionnaire)

In order to collect necessary data efficiently, questionnaires attached as ANNEX "I" will be distributed to ex-trainees and to their organizations. The completion of the questionnaires should be followed by interviews with ex-trainees if necessary and observations of their workshops to get direct feedback from them.

2) (Meeting)

On the occasion of the survey team's visit to Malaysia this fall, meetings should also be held with employers and supervisors of ex-trainees to determine their assessments on any changes or improvement in skills and attitude of the ex-trainees.

3) (Sampling)

For the data collection of a sample survey, the stratified random sampling on 20% of the 1st group to 6th group of ex-trainees in 7 different training fields should be conducted and all the ex-trainees of Executive Development Programme be included in the survey.

The breakdown is attached as ANNEX "II".

3. RESPONSIBILITIES OF BOTH AUTHORITIES

In preparing for and implementing the survey, both authorities concerned will undertake the following responsibilities. Both sides shall consult with each other on measures other than listed below when deemed necessary.

1) The Malaysian side is:

- (a) To select ex-trainees to be sampled;
- (b) To distribute questionnaires to the ex-trainees and their organizations;
- (c) To collect the fully filled questionnaires and forward them to JICA through diplomatic channels;
- (d) To bear the expenses necessary for the above-mentioned items (a) -- (c).

2) The Japanese side is:

- (a) To analyse the returned questionnaires;
- (b) To dispatch a survey team to Malaysia to discuss the results of the above-mentioned analyses with the Malaysian side;
- (c) To print the survey report of which contents have been agreed to by both Japanese and Malaysian sides;
- (d) To bear the expenses necessary for the above-mentioned items (a) - (c).

4. PROJECT ADMINISTRATION

JICA and PSD will be jointly responsible for implementation of the survey.

5. PRESENTATION OF THE SURVEY REPORT

After analysing the returned questionnaires by the Japanese side, survey results shall be reviewed and reported to both governments. The survey report will remain confidential until both Governments agree to release it.

6. SCHEDULE OF WORK

A recommended schedule of work on the survey is attached as ANNEX "III".

LIST OF THE JAPANESE CONSULTATION TEAM

- HEAD A. SAIKI
Deputy Director, Second Southeast Asia Division,
Asian Affairs Bureau,
Ministry of Foreign Affairs.
- MEMBER K. AIZAWA
Deputy Head of Overseas Investment,
Technical Cooperation Division,
International Trade Policy Bureau,
Ministry of International Trade and Industry.
- MEMBER K. KONISHI
Official, Technical Cooperation Division,
Economic Cooperation Bureau,
Ministry of Foreign Affairs.
- MEMBER Y. SHIROTA
Manager, Domestic Coordination Department,
Association for Overseas Technical Scholarship.
- MEMBER K. YATSUDA
Deputy Head, Third Training Division,
Training Affairs Department,
Japan International Cooperation Agency.
- MEMBER MISS TOMOKO KATSUNO
First Secretary,
Embassy of Japan.

LIST OF MALAYSIAN OFFICIALS

MR. AZIZAN AYOB

Deputy Director,
Training & Career Development Division,
Public Services Department, Malaysia.

MR. FREEDIE CHO CHIN SENG

Director of Research,
Socio-Economic Research Unit,
Prime Minister's Department.

MR. WAN ROSLI ISHAK

Bureau for Research and Planning,
National Institute of Public Administration,
Public Services Department, Malaysia.

MR. ABAS A. RAHMAN

Principal Assistant Director,
Look East Policy Unit,
Training & Career Development Division,
Public Services Department, Malaysia.

MISS MARY PILLAI

Assistant Director,
Socio-Economic Research Unit,
Prime Minister's Department.

MR. JAMALUDIN ALI

Principal Assistant Director,
Look East Policy Unit,
Training & Career Development Division,
Public Services Department, Malaysia.

TRAINEES' EVALUATION ON THE EFFECTIVENESS
OF THE 'IN-PLANT' INDUSTRIAL AND TECHNICAL
TRAINING AND EXECUTIVE DEVELOPMENT PROGRAMME
IN JAPAN

INSTRUCTION: Please answer the following questions.

A. PERSONAL INFORMATION

1. Post, Duty and Name of Organization before training in Japan :

Date: from _____ to _____ Post: _____

Duty: _____

Name of Organization: _____

2. Present Post, Duty and Name of Organization:

Date: from _____ to _____ Post: _____

Duty: _____

Name of Organization: _____

3. Type of Organization:

Tick (//)

	Before training	Present
(i) Federal Government Dept.	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(ii) State Government Dept.	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(iii) Semi-Government Agency	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(iv) Government-Interest Co.	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(v) Private Company	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(vi) Others		

4. Name of training organization in Japan _____

5. (1) Field of training:

Tick (/)

- (a) Mechanic
- (b) Electric/Electronic
- (c) Construction/Civil
- (d) Welding/Metal
- (e) Automobile
- (f) Heavy Industry
- (g) Others

(2) In the case of Executive Development Programme, please write the duration of training in Japan :

Date : from _____ to _____

6. Category :

Tick (/)

- Professional/Semi-professional
- Supervisor
- Instructor
- Workforce/Technician

7. In which Batch were you ?

Month/Year: from _____ to _____

B. EFFECTIVENESS OF TRAINING

1. Using the scale provided, please indicate the degree of benefit derived from the training for yourself :

1	2	3	4	5	No. ()
no benefit	little benefit	beneficial	very beneficial	extremely beneficial	

Please state the reason (s) in detail.

Reason (s) : _____

2. The degree of benefit derived from the training. Please indicate the appropriate one.

1	2	3	4	5
no benefit	little benefit	beneficial	very beneficial	extremely beneficial

1) Beneficial to the trainee No.
()

Please state the reason(s) in detail.

Reason(s) :

2) Beneficial to colleagues No.
()

Please state the reason(s) in detail.

Reason(s) :

3) Beneficial to your organization No.
()

Please state the reason(s) in detail.

Reason(s) :

4) Beneficial to your present work No.
()

Please state the reason(s) in detail.

Reason(s) :

3. To what degree have the Japanese work ethics influenced your attitude towards present work as to the factors listed below :

	1	2	3	4	5
	not at all	little	some influenced	very influenced	extremely influenced
1)-(i) Self-responsibility					No. ()
(ii) Group working					No. ()
(iii) Sense for Quality					No. ()
(iv) Efficiency in work					No. ()
(v) Discipline					No. ()
(vi) New ideas for management					No. ()
(vii) Loyalty to organization					No. ()
(viii) Punctuality for work					No. ()
2) Overall Evaluation					No. ()

If you have special comments about the evaluation of the items above, please write below :

(v) Overall Evaluation of effectiveness of training in Japan.

No.

()

5. After training in Japan, have you had a chance(s) to use the Japanese language?

Yes

No

If "Yes", please provide details of frequency and state the situation(s)

6. After training in Japan, have you ever contacted with your training organization in Japan?

Yes

No

Please state the nature of the contact(s).

7. Suggestions to training organizations in Japan, JICA, AOTS and Malaysian Government, for further improvement of the programme.

Thank you very much for your co-operation.

Questionnaire to the organization concerned on
the Look East Policy Programme in Japan

Please answer the following questions in detail.

1. Name of your organization: _____
2. Number of employees: _____
3. Type of organization and industry: Tick (/)

Type of organization	Type of industry
(i) Federal Government Department <input type="checkbox"/>	(i) Mechanic <input type="checkbox"/>
(ii) State Government Department <input type="checkbox"/>	(ii) Electric/Electronic <input type="checkbox"/>
(iii) Semi-Government Agency <input type="checkbox"/>	(iii) Construction/Civil Engineering <input type="checkbox"/>
(iv) Government-Interest Company <input type="checkbox"/>	(iv) Metal Process <input type="checkbox"/>
(v) Private Company <input type="checkbox"/>	(v) Automobile <input type="checkbox"/>
(vi) Others <input type="checkbox"/>	(vi) Heavy Industry <input type="checkbox"/>
	(vii) Others <input type="checkbox"/>
	If you indicated (vii), please specify: _____

4. Number of employees who have so far participated in the Look East Policy Programme in Japan: _____

5. How are the trainees selected? Tick (/)
- (a) Nomination (b) Examination (c) Interview
- (d) Others
- If you indicated (d), please specify.

6. The degree of benefit derived from the training. Please indicate the appropriate one.

1	2	3	4	5	

no benefit	little benefit	beneficial	very beneficial	extremely beneficial	No. ()
1) Beneficial to the trainee					()

Please state the reason(s) in detail.

Reason(s) : _____

2) Beneficial to colleagues ()

Please state the reason(s) in detail.

Reason (s) : _____

3) Beneficial to your organization, ()

Please state the reason(s) in detail.

Reason (s) : _____

7. If you are with private company, do you take into account training in Japan when considering special pay increase, promotion or posting?

Pay increase	Yes <input type="checkbox"/>	No <input type="checkbox"/>
Promotion	Yes <input type="checkbox"/>	No <input type="checkbox"/>
Posting	Yes <input type="checkbox"/>	No <input type="checkbox"/>

Please state the reason(s) in detail.

Reason(s) : _____

8. Does your organization intend to let other employees take part in the training in Japan in the future?

Yes

No

If the answer is No, please state the reason(s) in detail.

Reason(s):

9. Suggestions to training organizations in Japan, JICA, AOTS and Malaysian Government for further improvement of the programme.

Thank you very much for your co-operation.

Name : _____

Post : _____

Signature : _____

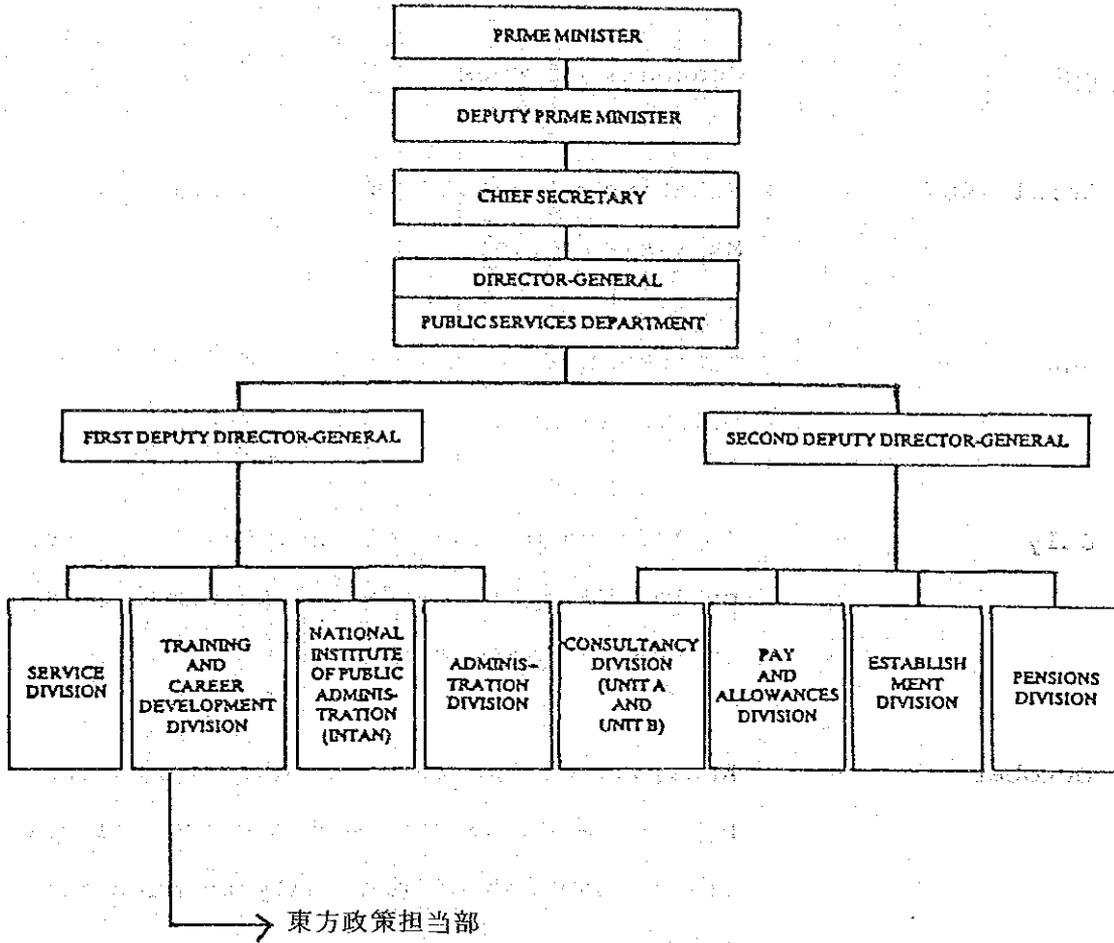
Date :

Type of Industry	Subject
Mechanic	Mechanical Engineering, General Mechanic/Forging, Mechanical Drafting, Machinery Fitting, Machining & Turning, General Machinery, Machining, Motor Machining, Maintenance of Machine tools, Marine Engine(Petrol & Diesel), Boat Building, Mechanical Engineering(Gallery Operation & Maintenance), Mechanical Engineering(Lift & Escalator), Mechanical Engineering(Locomotive Technology), Mechanical Drafting(Tool & Die Making), Tool & Die Making, Tooling & Production Facility, Hydraulic & Pneumatic Control.
Electric/ Electronic	Electrical, Electrical Engineering, Electrical Maintenance, Electrical Practical & Theoretical, Electrical, Wiring Installation & Repair, Electrical Power, Electric Works, Electric Works(Domestic & Industrial), Electrical Machine, Air Conditioning & Refrigeration, Electronic(s), Electronic Engineering, Electronic Service and Repair, Electronic Communication, Power Electronic, Basic Electricity & Consumers, Power Generation Simulation, Substation Practice & Protector, Power System Generating, Power System, Power Distribution(Supply to Consumers), Electrician, Radio & TV Servicing, Educational Video Production, Language Laboratory & Video Technology, Color TV/Flm & Television, Electrical & Audio-Visual Equipment, Electronic(RV Servicing), Overhead Practice & Underground Cables.
Construction/ Civil Engineering	Building Construction, Construction Engineering, Architectural Drafting, Structural Drafting, Mechanical/Electrical & Civil Drafting, Civil Engineering, Bridge Engineering, Building Construction(Concrete, Reinforcement & Stonework), Building Construction(General Plumbing), Bridge, Dam & Highway, Piping & Pump Maintenance, Plumbing.
Metal Processing	Welding, Welding(Arc & Gas), Welding Engineering, Surface Finishing, Foundry, Metal Works & Engineering, Metallurgical/Metal Testing, Electric Furnace Operation.
Automobile	Motor Mechanic, Automobile Technology, Motor Vehicle Mechanic, Engine Assembling, Automobile Maintenance, Mechanical Engineering(Automobile Technology).
Heavy Industry	Maintenance of Container & Handling Equipment, Agricultural & Heavy Machinery, Earth Moving Equip. & Construction Machinery, Heavy Machinery, Mechanical & Heavy Plants, Reconstruction of Heavy Industrial Vehicle, Shipbuilding & Drafting.
Others	Airport Engineering, Airport Engineering(Electrical), Airport Engineering(Civil), Port Engineering, Attachment Port Maintenance, Land Transportation Operation, Gas Processing & LPG Plant Operation, LPG Sea Transportation, LPG Storage & Export Facilities Operation, Mechanical Automation of LPG Operation, Urea Plant Maintenance, Color Photography, Industrial Standardization & Quality Control, Bulk Depot Essential Facilities Design, Industrial Automation, Maintenance Engineering System, Quality Control, Design Planning & Control, Design Planning & Control in Automobile Industry, Laboratory Analyst, Carpenter, Carpenters & Furniture Making, Carpenters & Joiners, Furniture Making, Carpenters & Joiners Furniture Making, Bricklaying & Plastering, Building Construction(Carpenters & Joiners), Building Construction(Jiling), Technology of Ceramic, Ceramic, Glaze & Decoration, Industrial Design Certification System, Sintering, Heat Treatment Technology, Instrumentation & Metrology, Medical Graphic, Physical Education & Gymnastics, Water Pollution Control & Sewerage Work Engineering, Advanced Instructor Technique, Maintenance.

SCHEDULE OF WORK

<u>Date</u>	<u>Contents of Work</u>
April 1987	- Printing of questionnaires by the Malaysian side.
June	- Distribution of questionnaires by the Malaysian side.
July	- Collection of the returned questionnaires by the Malaysian side and forwarding them to the Japanese side.
October	- Analyses of the returned questionnaires by the Japanese side and sending Malaysia the manuscript of the analysed questionnaires.
November	- Dispatch of the survey team to Malaysia for discussion and confirmation of the results of the analyses by both Japanese and Malaysian sides.
December	- Printing of the report by the Japanese side.

人事院組織図



JICA